



ジェンダー

生物学的な性別とは異なり「文化的・社会的に作られた性別」のこと。「男らしい」「女らしい」とされる行動や態度、「家事は女性がやるもの」といった役割分担意識 など

ジェンダーギャップ

男女の違いにより生じる格差のこと。

日本は何位？ジェンダーギャップ指数

日本は**125位**/146ヶ国
2022年は116位
ジェンダーギャップ指数 (GGI) 2023
(世界経済フォーラム 2023年6月発表)

2006年の公表開始以来、**最低の順位**

分野別にみると…

() は 2022 年の順位

教育	47位 (1位)	経済	123位 (121位)
健康	59位 (63位)	政治	138位 (139位)

なにが原因？

経済では女性管理職の割合の低さ、政治では女性の政治参加割合 (国会議員・閣僚・過去50年の首相の男女比など) の低さが順位を下げる原因になっています。

ジェンダーギャップ指数 上位国

- 1 アイスランド 🇫🇮
- 2 ノルウェー 🇳🇴
- 3 フィンランド 🇫🇮
- 4 ニュージーランド 🇳🇿
- 5 スウェーデン 🇸🇪

日本は、先進国 (G7※1) の中で**最低レベル**。
ASEAN 諸国 (※2) より**低い結果**です。

※1…アメリカ合衆国、日本、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、カナダ
※2…ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

ジェンダーギャップ指数が低いと…

ジェンダーギャップ指数が低い=男女間の格差が大きい国ということで、女性への被害が増えたり賃金の不平等などさまざまな問題が発生します。

男女共同参画の実現のために

「男だから」「女だから」といった役割分担意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じ、誰もが生きがいを感じられる社会を実現していくためにも、政治や社会活動のあらゆる分野での女性の活躍を推進します。

令和5年度 佐賀県民グループ企画支援事業

共同参画ネットワークたけお講演会 **女性がになう“まち”の未来**

活力ある地域づくりのためには、様々な場面で必要とされる女性の活躍を自分事としてとらえ実践することが大切です。まちの発展や明るい未来の担い手として、女性、子ども、若者の力が欠かせません。四年制大学の開学が計画されている中で市民と学生、教育、農業、観光などで地域との連携や広がり、どんなまちづくりを行っていくかなど、男女共同参画の視点からお話しいたします。



講師
内田 信子氏
(学校法人旭学園 理事長)

参加無料 託児あり 要申込

日にち **9/30 土**
時間 **13:30~15:00** (開場13:00)
場所 **武雄市文化会館 小ホール**
定員 **200名(先着順)**

申込締切 **9/20(水)**
申込方法 **共同参画ネットワークたけお(男女参画課内)**
(旧女性ネットワークたけお)
①電話 **0954-23-9141**
②メール **danjyo@city.takeo.lg.jp**
③FAX **0954-23-9120**
※参加者には後日入場券を送付します。